

演題 「私らしい歯科技工士のかたち」

下郡 綾子

私は歯科技工士として臨床経験を重ねる中で、多くの方々と関わりながら、技術だけではなく、仕事への向き合い方や歯科技工士として大切にしたいことを学んできました。そうした経験の積み重ねから、患者様一人ひとりに寄り添い、自身が理想とする義歯製作を追求したいという思いが少しずつ形となり、現在の歯科技工物製作につながっています。

近年、女性歯科技工士が活躍する場は広がり、多様な働き方や将来の選択肢も増えています。本講演では、私自身のこれまでの歩みを振り返り、その過程で経験したことや学んだこと、現在の取り組みについてお話しします。本講演が、それぞれの立場で自分らしい働き方や歯科技工士としての未来について考えるきっかけとなれば幸いです。